

公共交通オープンデータチャレンジ 2026

別所 正博 Masahiro BESSHO

INIAD (東洋大学情報連携学部) 教授

公共交通オープンデータ協議会 事務局

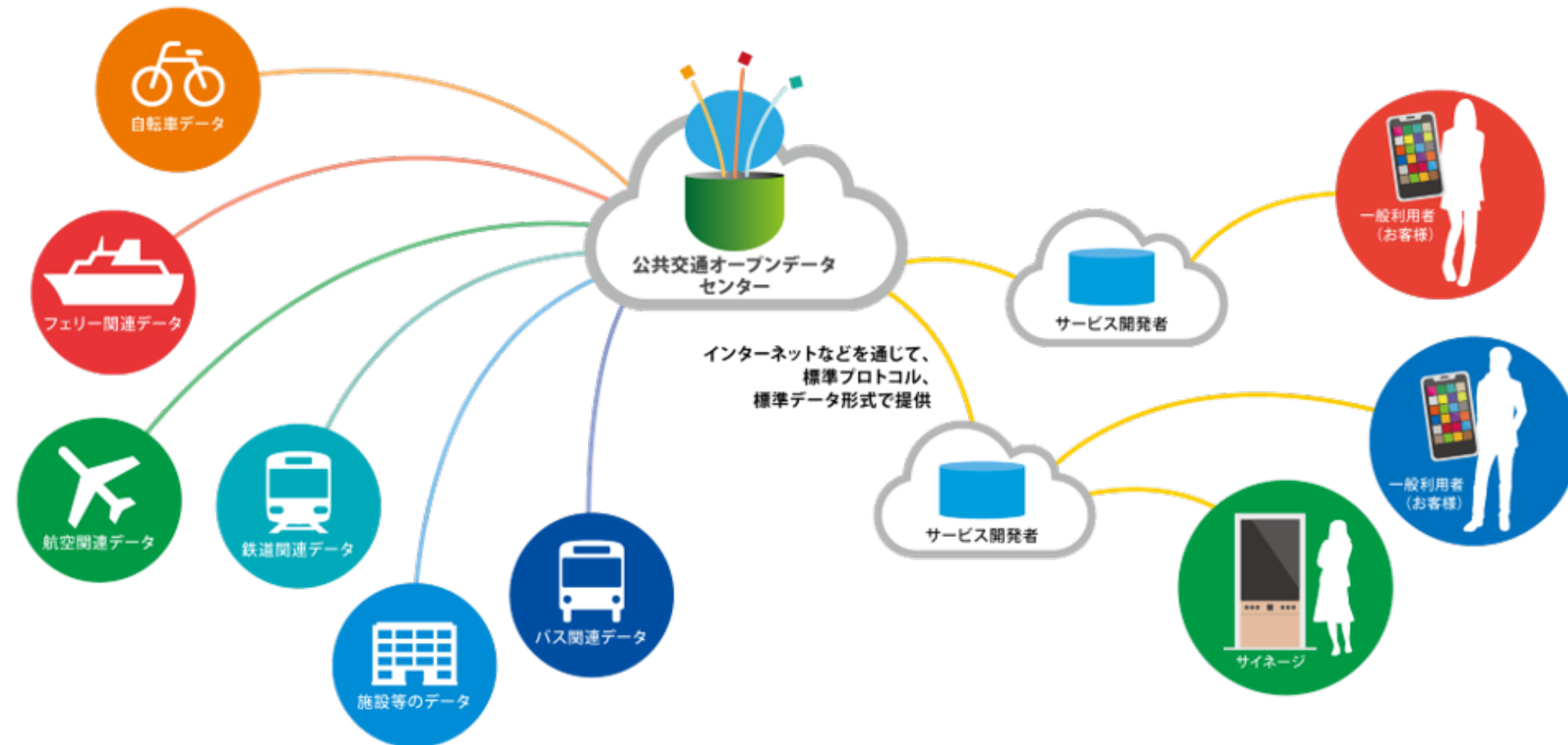
①

公共交通 オープンデータ協議会

公共交通オープンデータ協議会（ODPT）

<https://www.odpt.org/>

- 2015年9月に設立された、公共交通事業者、地方自治体、ICT事業者等から構成される、産官学連携の協議会（会長：坂村 健）
 - 鉄道、バス、航空、フェリー、シェアサイクル等の交通関連データのオープン化に向けて活動
 - リアルタイムデータ（鉄道の運行情報、バスロケーション情報）のオープンな流通にも取り組む



そもそもオープンデータとは？

- 公共性の高いデータを、自由に利用できるように、オープンライセンスで提供するもの
 - 日本では行政分野のデータを指すことが多いが、科学の分野のデータを指すことや、民間事業者などが提供する情報も含むことも
- 国内では、以下の定義が参照されることが多い

国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、次のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータをオープンデータと定義する。

- 営利目的、非営利目的を問わず**二次利用可能なルール**が適用されたもの
- **機械判読**に適したもの
- **無償で利用**できるもの

〈参照：オープンデータ基本指針（平成29年5月30日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部・官民データ活用推進戦略会議決定）〉

公共交通オープンデータセンター

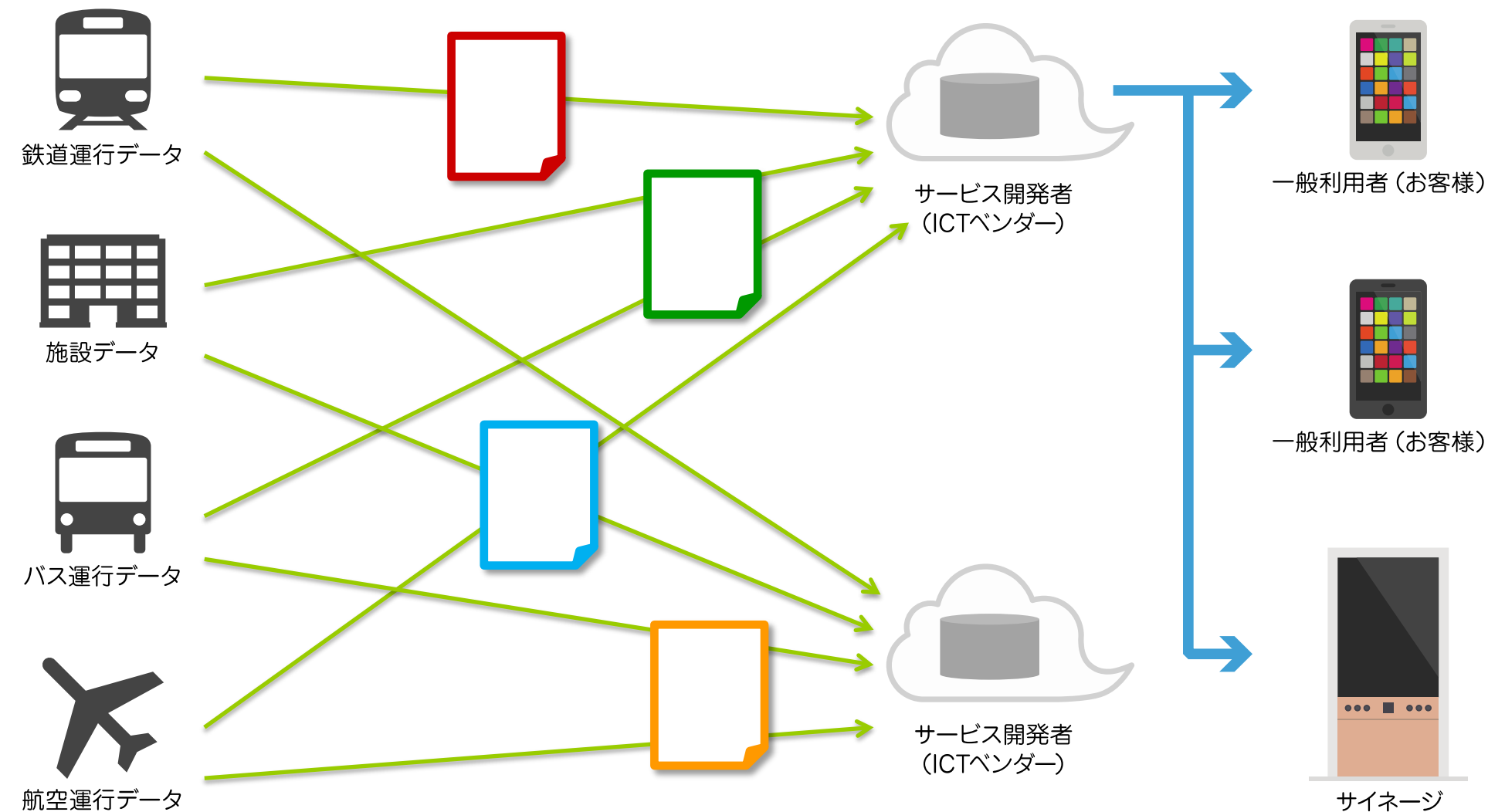
日本における公共交通事業者とデータ利用者を結ぶ
データ連携プラットフォームとして、2019年5月に運用を開始



オープン・イノベーションの源泉を目指す

これまでは...

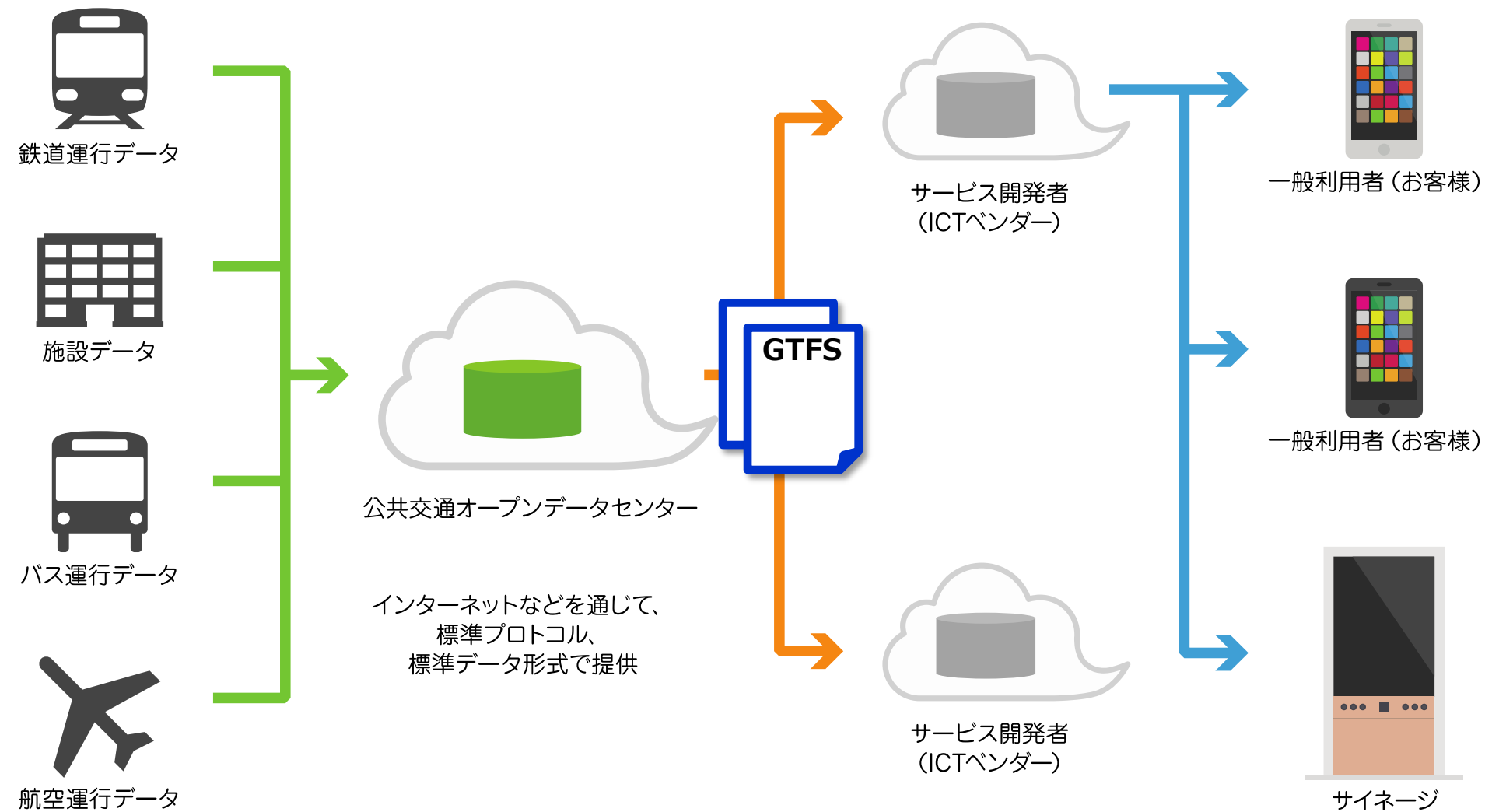
- 多数の交通事業者から、バラバラのフォーマットのデータを集めなければ、サービスを構築できない
 - ✓ 個人開発者やスタートアップ：「素晴らしいアイデア」を思いついても、参入できない
 - ✓ 交通事業者：自社データが乗換案内サービスに届かなければ、掲載されない



公共交通オープンデータセンターがあれば...

● 公共交通データを **GTFS** などの標準フォーマットで流通

- ✓ 個人開発者やスタートアップ：さまざまなアイデアを、サービスとして形にすることも可能に！
- ✓ 交通事業者：自社データが素早く乗換案内サービスに反映される！



GTFS とは？

● GTFS とは...

- General Transit Feed Specification の略
- **公共交通機関の時刻表**と地理的情報に関するオープンフォーマット
- 元はGoogleマップに公共交通機関のデータを取り込むためにGoogleが定めたフォーマットだが、現在はデータ仕様もオープン化されている



● 現在では...

- ✓ 国内外の様々な乗換案内サービスにおいて活用
- ✓ 日本では、特にバスやフェリーを中心に、国土交通省が中心となり、GTFSデータの整備とオープンデータ化を推進
- ✓ グローバルには、**MobilityData** がデータ仕様をオープンなプロセスで管理

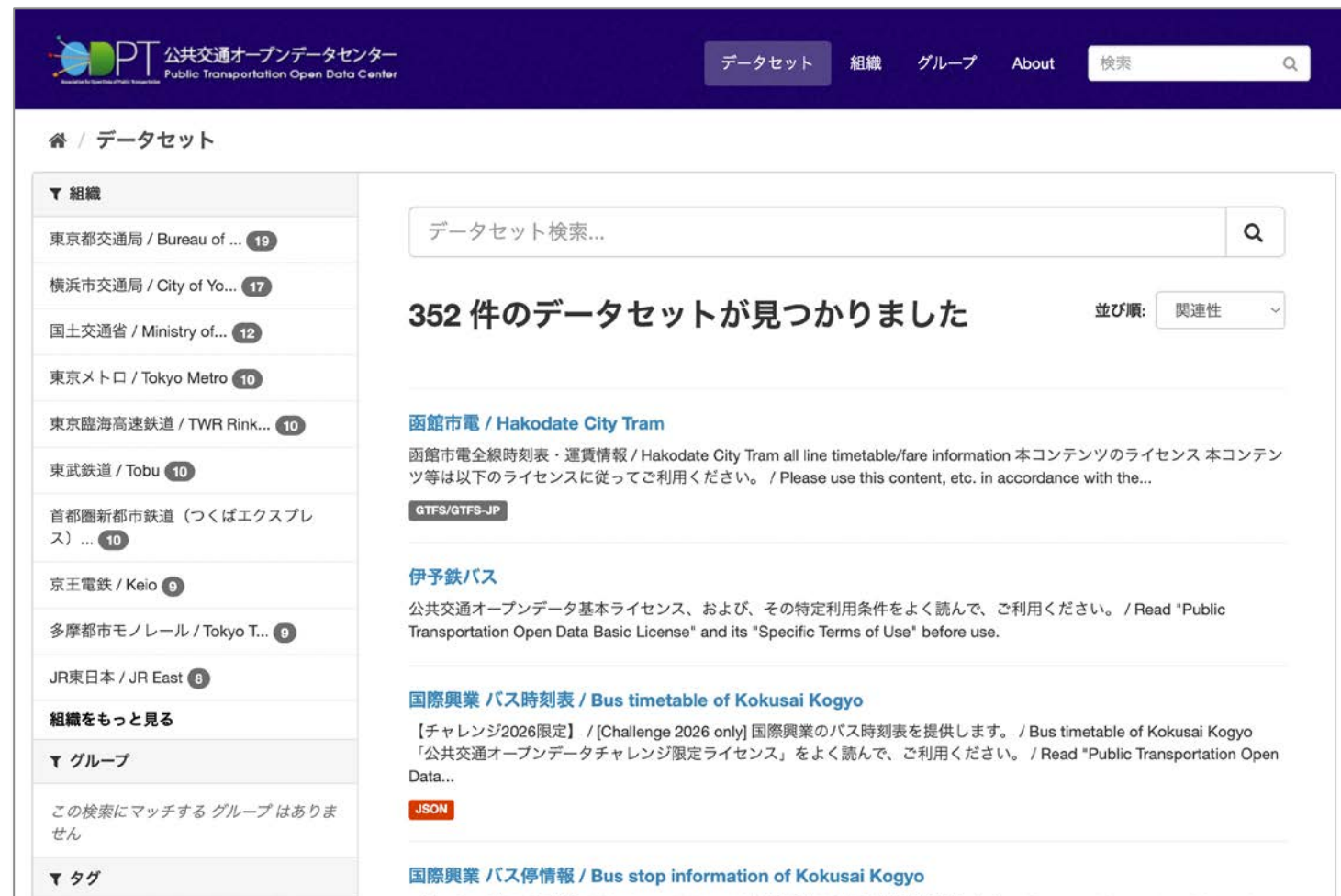
ODPT と MobilityData

- 2022年より、ODPT と MobilityData は、持続的なモビリティサービスおよびモビリティ分野のオープンデータの幅広い利活用に向けて提携
 - MobilityData : GTFS / GBFSをはじめとした、公共交通データの国際的な標準化を推進する非営利団体



ODPTセンター

- 公共交通データの利用者（開発者）の皆様には、以下のサイトを運用
 - [左] カタログサイト：公開されているデータを確認することができる
 - [右] 開発者サイト：開発者登録や技術情報の提供



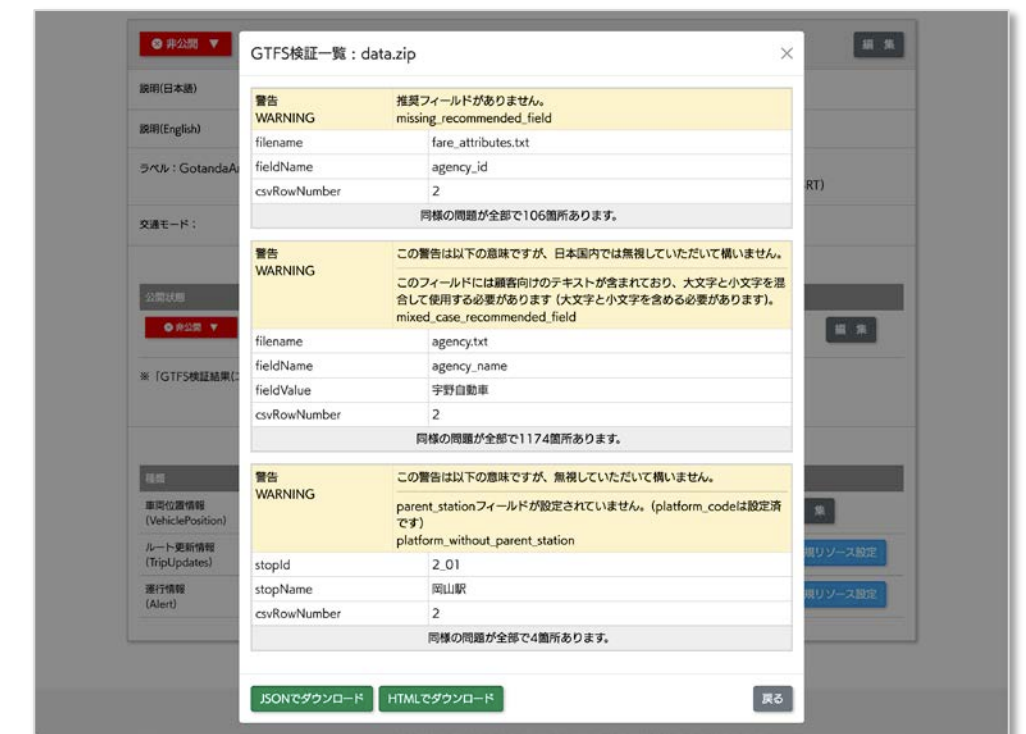
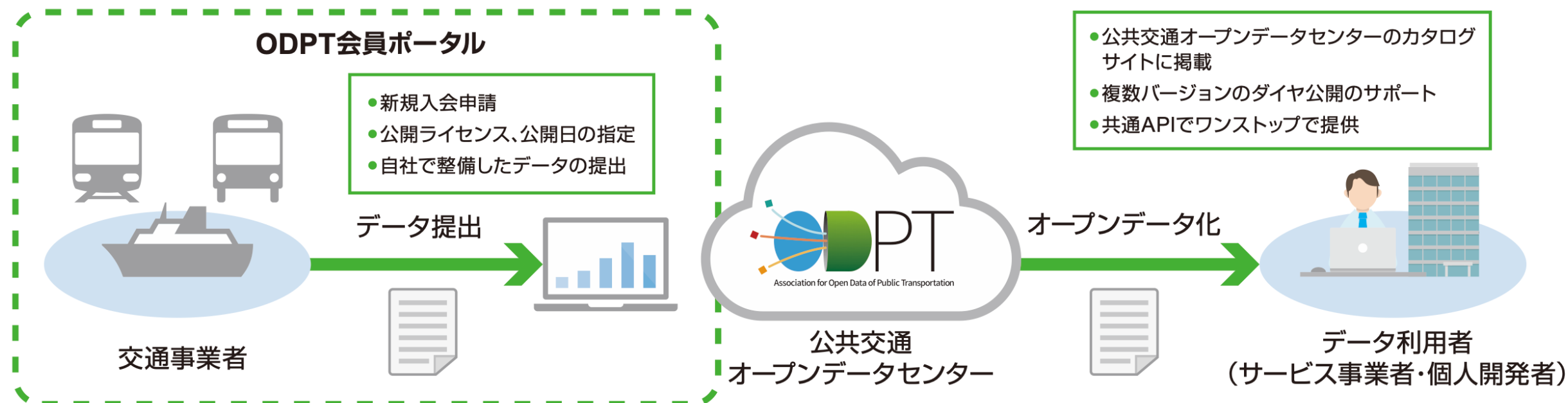
<https://ckan.odpt.org/>



<https://developer.odpt.org/>

ODPT会員ポータル

- 交通事業者の皆様には、自社で整備した GTFS データ等を簡単に掲載するためのポータルサイトを運用
 - ワンストップな協議会への入会申請
 - ワンストップな公共交通オープンデータセンターへのデータ掲載
- 以下のような機能も提供
 - MobilityData のバリデータと連携し、GTFSデータの自動チェック、日本語でのフィードバック機能
 - 公開するデータに適用するライセンスを選択する機能



ODPTセンターでのライセンスの扱い

- ODPTセンターで公開するデータに適用するライセンスについては、データホルダーである交通事業者の方の判断を尊重
- ✓ CC BY 4.0
 - オープンデータで広く採用されているライセンス
 - 適切なクレジットを表記することを条件に、営利・非営利を問わず、自由に複製・再配布・改変できる
 - ODPTセンターでは、開発者として登録していなくてもアクセスできます
- ✓ ODPT基本ライセンス
 - 交通事業者様のご懸念（古い時刻表が出回り、利用者の利便性を損なう懸念など）を踏まえたライセンス
 - 一般的なオープンデータと同様に、営利・非営利を問わず、データを利用できる
 - データの転々流通に制限を行っているほか、いくつかの制約（データが変更された場合の更新を求める点など）がある
 - ODPTセンターでは、開発者として登録した方のみアクセスすることができます
- ✓ その他のライセンス
 - 上記以外の独自ライセンスも設定することができます

ODPTセンターの公開データ

鉄道（2019～）

- 2019年5月 都営地下鉄等のデータ公開開始
- 2024年 GTFSデータの公開開始
- 現在**18**組織のデータ公開

バス（2019～）

- 2019年5月 都営バス等のGTFSデータの公開開始
- 現在**69**組織のデータ公開

航空（2019～）

- 2019年8月 全日本空輸および日本航空のデータの公開開始
- 現在**4**組織のデータ公開

フェリー（2020～）

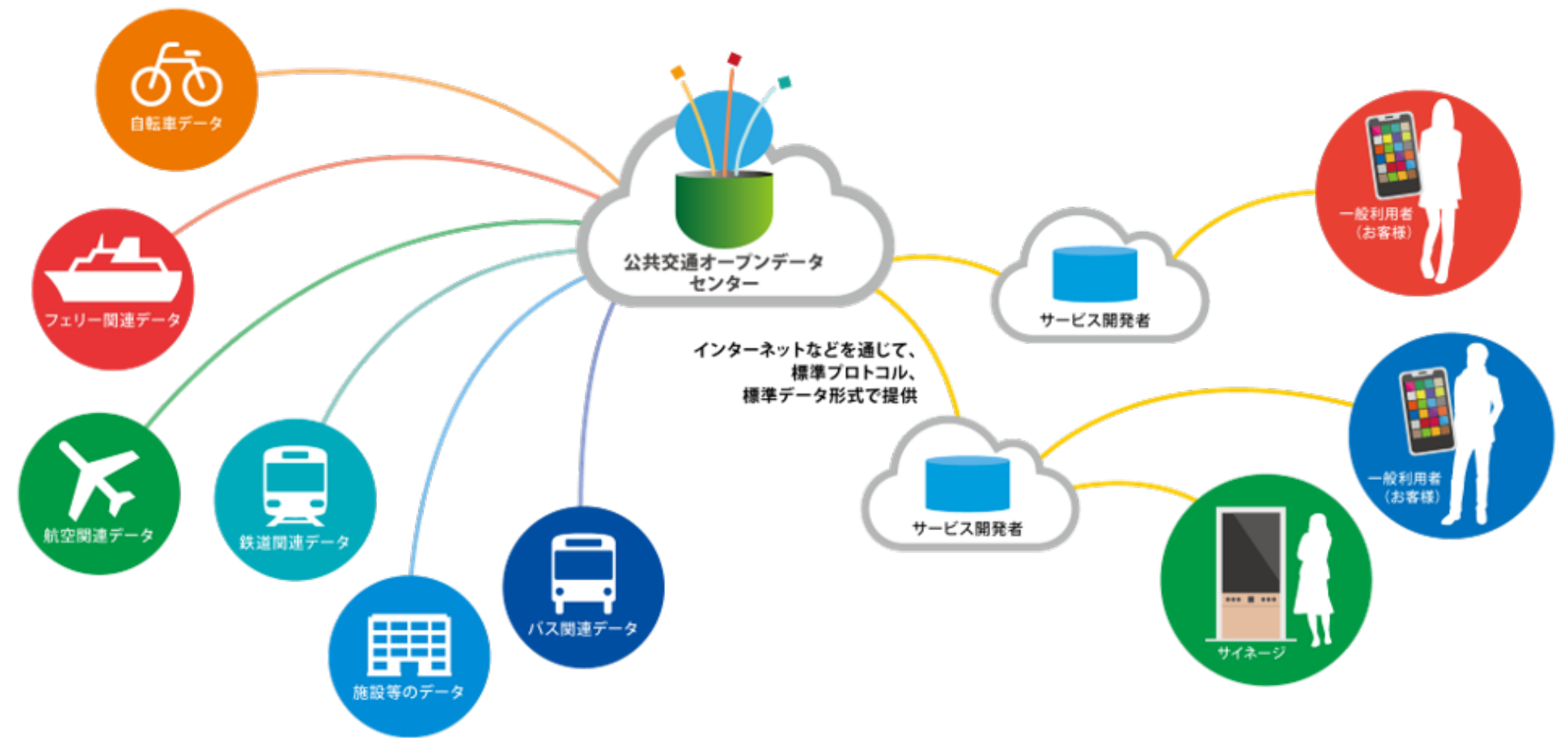
- 2020年4月 国土交通省海事局と連携し、GTFSデータの公開開始
- 現在**22**組織のデータ公開

シェアサイクル（2022～）

- 2022年6月 東京都環境局と連携し、GBFSデータの公開開始
- 現在、OpenStreet およびドコモ・バイクシェアの全国のデータを公開

デマンド交通（2025～）

- 2025年8月 公共交通オープンデータチャレンジの一環で、GTFS-Flexデータの公開開始
- 昨年度、**3**事業者の協力で、**9**自治体のデータを公開



特に注目を集めているのは...

GTFS Realtime (リアルタイムデータ)

鉄道がどこを走っているか、バスがどこを走っているかのデータを、
リアルタイムに提供

2020年～

Google マップへのバスロケーションデータの掲載

● Google マップに、複数のバス事業者のリアルタイム位置情報を提供

- 都営バス：<https://www.odpt.org/2020/08/19/press20200819/>
- 西武バス：https://www.odpt.org/2021/05/25/press20210525_seibu/
- 横浜市営バス：https://www.odpt.org/2021/05/25/press20210525_yokoahama/
- 京王バス：<https://www.odpt.org/2023/09/01/press0901/>
- 伊豆箱根バス：https://www.odpt.org/2025/01/20/press20250120_izuhakone/
- 京都バス：https://www.odpt.org/2025/08/05/press20250805_kyotobus/
- 松江市交通局・一畑バス：<https://www.odpt.org/2026/06/22/press20260622/>



©Google



©Google



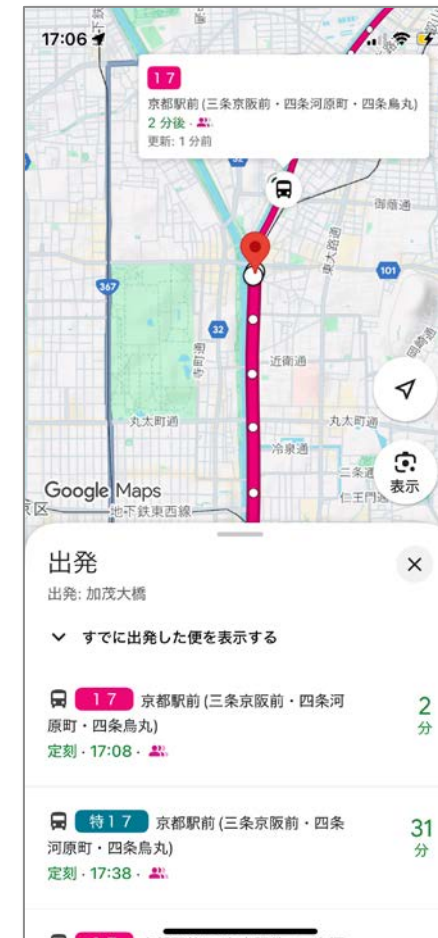
©Google



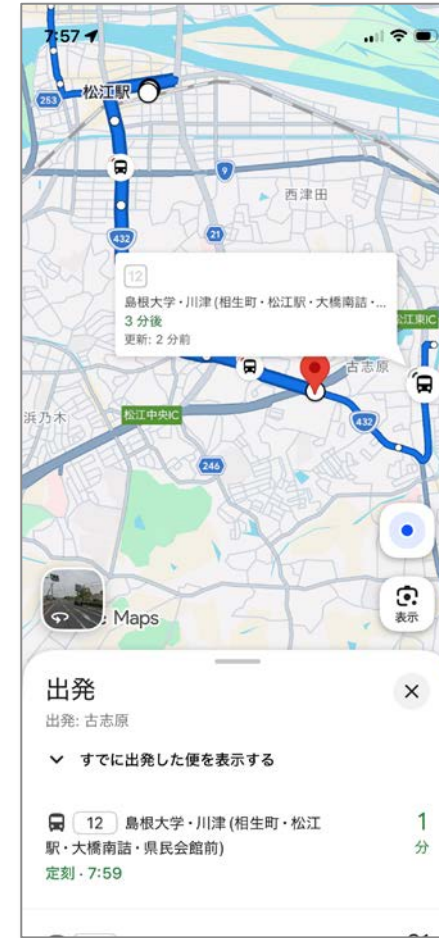
©Google



©Google



©Google



©Google

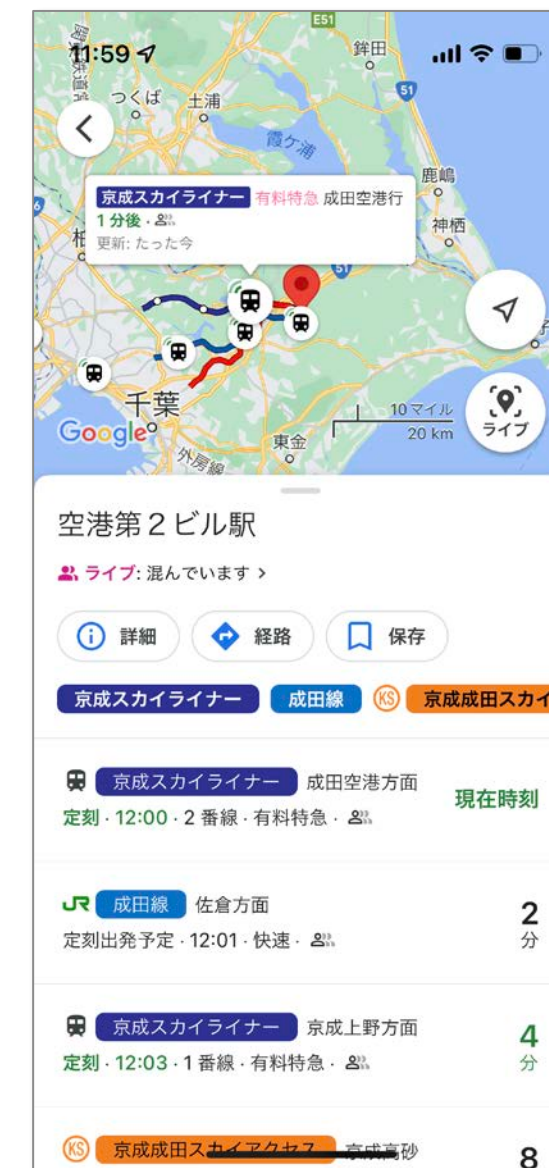
2021年～

Google マップへの鉄道リアルタイムデータの掲載

- Google マップに、複数の鉄道事業者のリアルタイム位置情報を提供



©Google



©Google



©Google

出典: <https://www.odpt.org/2021/02/01/press20210201/>

2020年～ ジョルダン「乗換案内」への掲載

- ジョルダン「乗換案内」アプリにおいて、以下のデータを掲載
 - 都営地下鉄各路線の列車ロケーションデータ
 - 横浜市営バスのバスロケーションデータ
 - 西武バスのバスロケーションデータ

【バス混雑状況提供イメージ】



【バス接近情報提供イメージ】



出典: https://www.jorudan.co.jp/company/data/pdf_pr/20201221_crowd-bus.pdf

出典: https://www.jorudan.co.jp/company/data/pdf_pr/20210902_seibubus-buslocation.pdf

2021年～

Yahoo! マップへの掲載

- 乗換検索アプリ「Yahoo!乗換案内」において、都営地下鉄、都営バス、や横浜市営バス、西武バスなどのリアルタイムデータを掲載
 - リアルタイムな位置情報や遅延情報などを提供



出典: <https://www.odpt.org/2021/02/25/press20210225/>

2024年～ Appleマップへの掲載

● Appleマップに、現在計28の公共交通機関のリアルタイム情報をリアルタイム位置情報を提供

- 東京都交通局（都営バス）
- 横浜市交通局（横浜市営バス）
- 東京都交通局（都営地下鉄、東京さくらトラム）
- 横浜市交通局（横浜市営地下鉄）
- 京王電鉄バス株式会社（京王バス）
- 西武バス株式会社（西武バス）
- 函館市企業局（函館市電）
- 青森市企業局交通部（青森市営バス）
- 日本中央バス株式会社（日本中央バス）
- 永井運輸株式会社（永井バス）
- 株式会社群馬バス（群馬バス）
- 京成トランジットバス株式会社（京成トランジットバス）
- 伊豆箱根バス株式会社（伊豆箱根バス）
- 川崎市交通局（川崎市バス）
- 川崎鶴見臨港バス株式会社（川崎鶴見臨港バス）
- 清瀬市（きよバス）
- 京都バス株式会社（京都バス）
- 宇野自動車株式会社（宇野バス）
- 北海道拓殖バス株式会社
- 西東京バス株式会社
- 関東バス株式会社
- 船木鉄道株式会社（バス）
- 株式会社伊予鉄グループ（バス）
- 株式会社上信観光バス
- 群馬中央バス株式会社
- 関越交通株式会社（バス）
- 秋葉バスサービス株式会社
- 下津井電鉄株式会社（バス）



©Apple



©Apple

出典：<https://www.odpt.org/2024/08/07/press20240807/>

出典：<https://www.odpt.org/2026/04/13/news0413/>

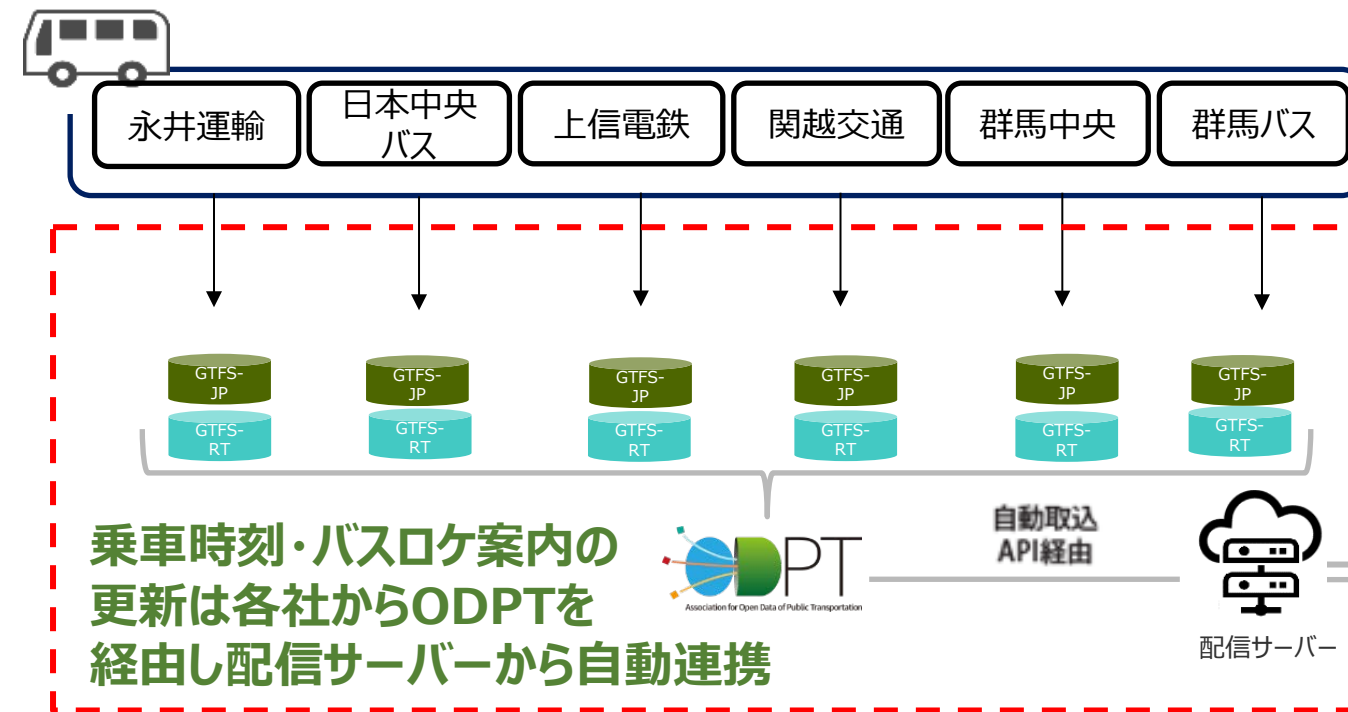
サイネージ等でのデータ活用も...

GTFS形式のオープンデータを活用したデジタルサイネージ
バス事業者が自社の案内に活用する事例も

2022年～（富士フィルムイメージングシステムズ） サイネージにおけるデータ活用

- JR前橋駅前のデジタルサイネージにおいて、前橋市のバス事業者6社の GTFS/GTFS-RT をODPTセンターに集約・配信し、時刻表や運行情報を1つのサイネージで表示

- 永井運輸/日本中央バス/上信観光バス/関越交通/群馬中央バス/群馬バス
- アラート情報を活用し、緊急情報も配信



より多様な公共交通モードへ

鉄道・バス・航空から始まったが...



フェリー・シェアサイクル・デマンド交通など、
多様なモードのデータを扱うように発展

2020年～

フェリーデータのオープンデータ化

- 国土交通省海事局と連携し、フェリー・旅客船事業者のGTFSデータを、公共交通オープンデータセンターから公開
- Google マップにも以下のフェリー事業者の航路データを提供
 - 宇和島運輸
 - 名門大洋フェリー
 - 日豊汽船
 - 酒田市定期航路事業所
 - 姫島村
 - 日南市
 - 三和商船株式会社
 - 鹿児島市船舶局（桜島フェリー）
 - 東京都観光汽船



https://www.odpt.org/2025/06/19/press20250619_sakurajima/

©Google

2022年～

シェアサイクルデータのオープンデータ化

- 日本国内で初めて、バイクシェア関連のデータをGBFS形式で公開
 - OpenStreet およびドコモ・バイクシェアのドックの位置情報やリアルタイムな空き情報を公開
 - 東京都環境局と連携した「自転車シェアリングのオープンデータ化推進事業」の一環で開始したが、全国に拡大



MobilityData / gbfs Public

<> Code Issues 16 Pull requests 6 Actions Projects Wiki Security Insights

Request to update system.csv #446

Merged mpslsmith merged 1 commit into MobilityData:master from iniad-bessho:add-odpt-feeds on Aug 16

Conversation 1 Commits 1 Checks 1 Files changed 1 +2 -0

iniad-bessho commented on Aug 12

We are working for Association... We'd like you to add the follow...

- docomo bike share service
- HELLO CYCLING

Added two feeds in Japan. ✓ 2fabf4c

Labels: None yet

Projects: None yet

Milestone

mpslsmith commented on Aug 16

Thank you! @iniad-bessho - these are our first feeds from Japan

日本からの最初のフィードです！

GBFS : General Bikeshare Feed Specification

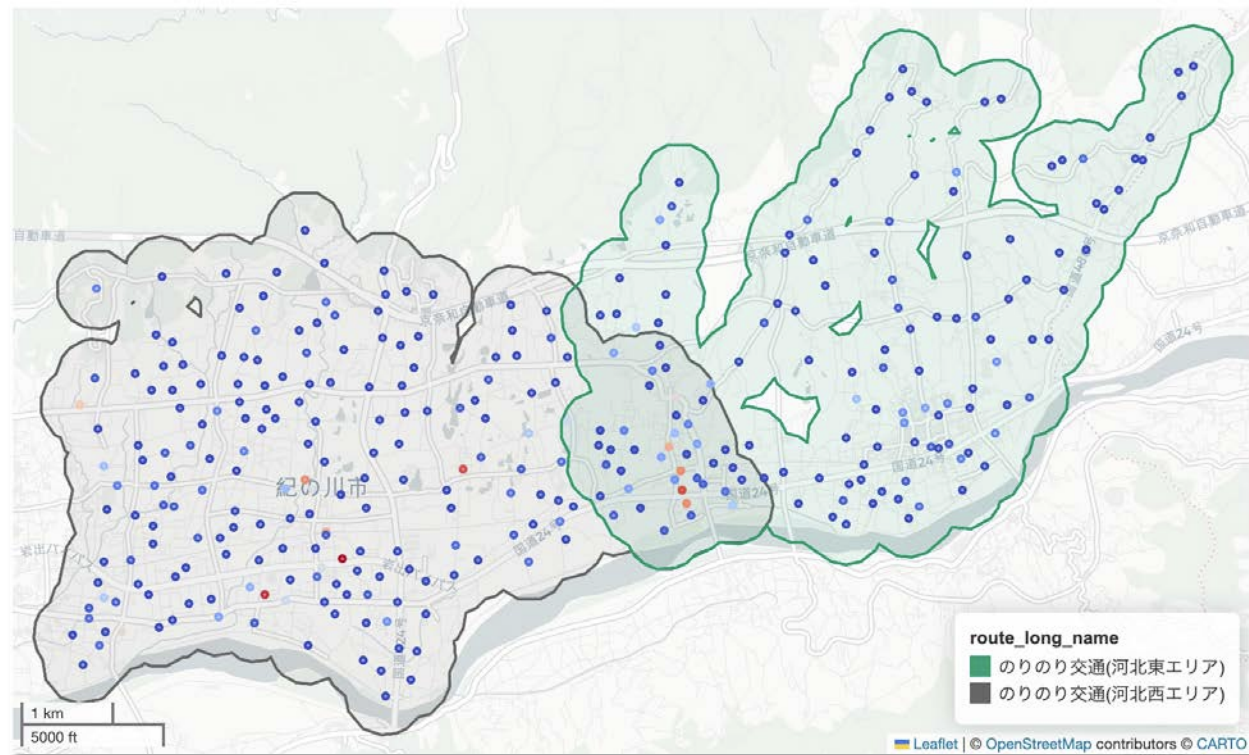
- マイクロモビリティの標準的なフォーマット規格
- North American Bikeshare Association (NABSA) が中心となり作成された規格
- 現在は GTFS と同様に MobilityData が管理

2025年～

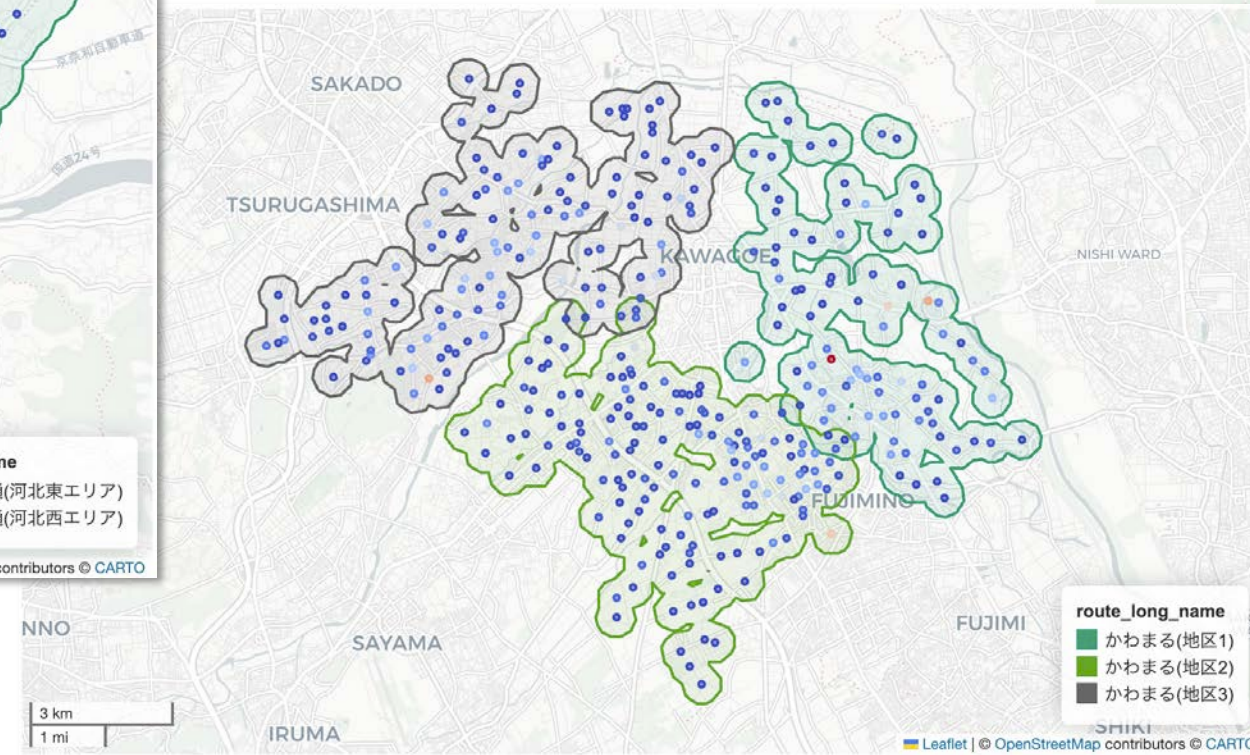
デマンド交通データのオープンデータ化

● 日本国内で初めて、GTFS-Flexデータを含む、デマンド交通のデータを公開

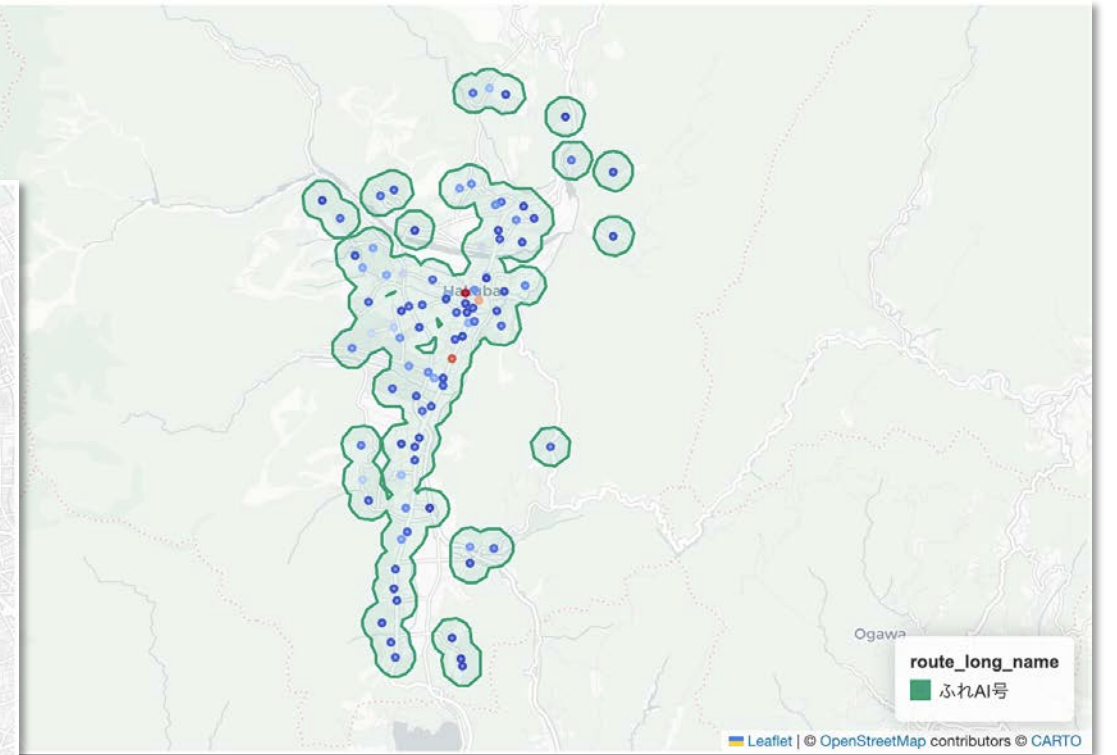
- 協力: MONET Technologies株式会社、SWAT Mobility Japan株式会社、順風路株式会社
- 公開自治体: 青森県平川市、群馬県安中市、群馬県富岡市、群馬県玉村町、群馬県昭和村、福井県坂井市、和歌山県紀の川市、長野県白馬村、埼玉県川越市
- ※GTFS-Flex: 2024年3月に正式仕様として採用された、デマンド交通等を表現するためのGTFSの拡張仕様



紀の川市 デマンド乗合交通「のりのり交通」



川越市 デマンド型交通「かわまる」



白馬村 デマンドタクシー「ふれAI号」

公共交通オープンデータから始まる イノベーションを

地域の可能性を広げる、新たなサービスをカタチに



公共交通オープンデータ チャレンジ2026



公共交通オープンデータの活用を競う、通算**7**回目のアプリケーションコンテスト

公共交通オープンデータ協議会と国土交通省が主催

コンテスト実施期間：2026年7月1日（水）～2027年3月12日（金）

応募期間：2026年10月1日（木）～2027年1月11日（月・祝）

公共交通オープンデータチャレンジ2026

- 主催：公共交通オープンデータ協議会、国土交通省
- 共催：INIAD cHUB（東洋大学情報連携学 学術実業連携機構）、東京大学大学院情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センター、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）
- 特別協力：東京都、東日本旅客鉄道株式会社、グーグル合同会社、MobilityData、YRPユビキタス・ネットワーキング研究所
- 協力：
 - <鉄道> 明知鉄道株式会社、伊勢鉄道株式会社、小田急電鉄株式会社、京都市交通局、熊本市交通局、熊本電気鉄道株式会社、京王電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、相模鉄道株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、西武鉄道株式会社、多摩都市モノレール株式会社、東急電鉄株式会社、東京地下鉄株式会社、東京都交通局、東京臨海高速鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、富山地方鉄道株式会社、日本貨物鉄道株式会社、函館市企業局、東日本旅客鉄道株式会社、万葉線株式会社、山形鉄道株式会社、株式会社ゆりかもめ、横浜市交通局
 - <路線バス> あおい交通株式会社、青森市企業局交通部、秋葉バスサービス株式会社、阿佐海岸鉄道株式会社、伊豆箱根バス株式会社、糸魚川バス株式会社、伊予鉄バス株式会社、上田バス株式会社、羽後交通株式会社、宇野自動車株式会社、大島旅客自動車株式会社、大利根交通自動車株式会社、加越能バス株式会社、神奈川中央交通株式会社、川崎市交通局、川崎鶴見臨港バス株式会社、岩宇地域公共交通活性化協議会、関越交通株式会社、関東バス株式会社、北恵那交通株式会社、北設楽郡公共交通活性化協議会、京都市交通局、京都バス株式会社、非営利活動法人清里観光振興会、草軽交通株式会社、くしもと観光周遊バス推進協議会、熊本都市バス株式会社、熊本バス株式会社、有限会社黒岩観光、熊野御坊南海バス株式会社、群馬中央バス株式会社、株式会社群馬バス、京王電鉄バス株式会社、京成バス千葉ウエスト株式会社、京成バス千葉セントラル株式会社、京福バス株式会社、株式会社県交北部交通、株式会社高知駅前観光、公益財団法人高知県観光コンベンション協会、高知県航空利用促進協議会、高知高陵交通株式会社、高知西南交通株式会社、高知東部交通株式会社、国際興業株式会社、琴参バス株式会社、産交バス株式会社、ジェイアール四国バス株式会社 高知支店、株式会社四万十交通、下北交通株式会社、下津井電鉄株式会社、十王自動車株式会社、株式会社上信観光バス、上信ハイヤー株式会社、庄内交通株式会社、株式会社白鳥交通、神姫観光株式会社、新常磐交通株式会社、特定非営利活動法人生活バス四日市、西讃観光株式会社、西武バス株式会社、仙台市交通局、相鉄バス株式会社、大新東株式会社、太陽交通株式会社、株式会社タケヤ交通、千曲バス株式会社、知多乗合株式会社、中紀バス株式会社、つくば観光交通株式会社、東急バス株式会社、東京都交通局、東濃鉄道株式会社、東武バス株式会社、徳島市交通局、徳島バス株式会社、徳島バス南部株式会社、土佐清水市、とさでん交通株式会社、富山地方鉄道株式会社、永井運輸株式会社、長電バス株式会社、名古屋市住宅都市局、南海りんかんバス株式会社、西東京バス株式会社、日本中央バス株式会社、根室交通株式会社、濃飛乗合自動車株式会社、特定非営利活動法人バスネット津、八戸市交通部、八幡観光バス、浜松バス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、日立自動車交通株式会社、株式会社フジエクスプレス、船木鉄道株式会社、北振バス株式会社、北海道拓殖バス株式会社、松江市交通局、三重交通株式会社、南信州地域交通問題協議会（南信州広域連合）、明光バス株式会社、最上川交通株式会社、山形交通株式会社、合同会社やんばる急行バス、横浜市交通局、龍神自動車株式会社、有限会社嶺北観光自動車
 - <コミュニティバス> 青木村、青森市、赤磐市、明石市、安芸市、秋田市、上松町、赤穂市、山形県朝日町、富山県朝日町、芦屋町、あま市、荒川区、有田川町、淡路市、安城市、安堵町、安中市、飯島町、飯山市、伊賀市、池田町、伊勢市、市川町、市川三郷町、一関市、猪名川町、稲城市、いなべ市、いの町、揖斐川町、伊万里市、射水市、岩出市、上田市、魚津市、内灘町、恵那市、奥州市、近江八幡市、大泉町、大江町、大垣市、大口町、大蔵村、大桑村、大台町、王滝村、太田市、大玉村、大田原市、大月町、大町市、大鰐町、小笠原村、岡谷市、山形県小国町、小野市、尾花沢市、小矢部市、尾鷲市、尾張旭市、遠賀町、甲斐市、海津市、海陽町、鏡野町、掛川市、加古川市、鹿児島市、加西市、笠松町、葛飾区、かつらぎ町、香取市、可児市、山形県金山町、河北町、嘉麻市、上市町、上勝町、神河町、上郡町、香美市、上土幌町、上山市、亀山市、加茂市、刈谷市、軽井沢町、川上村、川越町、川崎町、観音寺市、苅田町、木曽広域連合、木曽町、木曽岬町、木祖村、北川村、北九州市、北島町、北名古屋市、紀の川市、岐阜市、紀宝町、君津市、清瀬市、草津市、郡上市、国立市、熊谷市、熊野市、鞍手町、黒石市、黒部市、桑名市、芸西村、甲賀市、高知県、神津島村、香南市、神戸市、古賀市、国分寺市、五所川原市、湖南省、小松市、菰野町、さいたま市、寒河江市、酒田市、佐川町、鮭川村、寒川町、佐用町、三条市、塩尻市、静岡市、穴粟市、七ヶ浜町、七戸町、志摩市、島田市、四万十市、四万十町、上越市、勝央町、小豆島町、庄内町、白鷹町、新温泉町、新宮町、新郷村、新庄市、新城市、須恵町、杉並区、宿毛市、須坂市、須崎市、洲本市、諏訪市、関市、瀬戸内市、瀬戸市、仙北市、添田町、外ヶ浜町、台東区、高岡市、高崎市、高砂市、高島市、高山市、宝塚市、田川市、武豊町、多気町、太宰府市、多治見市、立川市、たつの市、立山町、田辺市、田野町、丹波篠山市、茅ヶ崎市、筑後市、築上町、千曲市、知多市、知立市、つがる市、つくば市、津市、土浦市、津野町、燕市、津山市、鶴岡市、つるぎ町、鶴田町、天童市、東員町、東海市、東京都中央区、東北町、土岐市、徳島市、常滑市、土佐市、土佐清水市、戸沢村、砺波市、鳥羽市、富山市、豊明市、豊岡市、豊田市、豊山町、十和田市、直島町、長井市、那珂川町、長久手市、中津川市、中津市、中土佐町、中泊町、長野市、長浜市、那賀町、中山町、流山市、南木曽町、奈義町、那須塩原市、那須町、名張市、行方市、滑川市、成田市、鳴門市、南国市、南砺市、南部町、南陽市、新見市、西尾市、西川町、西東京市、西宮市、西脇市、日光市、日進市、二宮町、入善町、仁淀川町、韮崎市、直方市、野々市市、白山市、階上町、羽島市、八戸市、花巻市、早島町、飯能市、東浦町、東近江市、東根市、東みよし町、東村山市、東大和市、久山町、飛騨市、七宗町、日野町、姫路市、平川市、平戸市、平内町、弘前市、深浦町、福岡市、福岡町、福津市、藤枝市、豊前市、碧南市、北杜市、益田市、東京都町田市、松阪市、松茂町、松戸市、松本市、真庭市、真室川町、三沢市、瑞浪市、瑞穂町、御嵩町、みどり市、三豊市、南あわじ市、南伊勢町、南知多町、美波町、美濃加茂市、三原市、壬生町、三宅村、みやま市、宮若市、みよし市、三好市、宗像市、村上市、村山市、室戸市、明和町、本巢市、本宮市、本山市、守山市、矢板市、八重瀬町、八百津町、野洲市、安田町、柳津町、柳川市、山県市、山形市、大和郡山市、大和高田市、山辺町、結城市、横須賀市、吉野川市、四日市市、四街道市、米沢市、蓬田村、栗東市、龍ヶ崎市、六ヶ所村、和気町、和光市、度会町
 - <デマンド交通> 順風路株式会社、SWAT Mobility Japan株式会社、MONET Technologies株式会社、安中市、川越市、紀の川市、坂井市、昭和村、玉村町、富岡市、白馬村、平川市
 - <フェリー> 斎島汽船株式会社、宇和島運輸株式会社、オクシリアイランドフェリー株式会社、鹿児島市船舶局、九商フェリー株式会社、酒田市定期航路事業所、三和商船株式会社、四国開発フェリー株式会社、新宮町、周防灘フェリー株式会社、種子屋久高速船株式会社、津エアポートライン株式会社、東海汽船株式会社、東京都観光汽船株式会社、鳥羽市、鳴門市、日豊汽船株式会社、羽幌沿海フェリー株式会社、阪九フェリー株式会社、姫島村、備後商船株式会社、株式会社富士急マリンリゾート、富士山清水港クルーズ株式会社、マルエーフェリー株式会社、丸文松島汽船株式会社、宗像市、名鉄海上観光船株式会社、株式会社名門大洋フェリー
 - <航空> 全日本空輸株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社、成田国際空港株式会社、日本航空株式会社
 - <シェアサイクル> OpenStreet株式会社、株式会社ドコモ・バイクシェア
- オープンデータ・パートナー：PLATEAU、国土交通データプラットフォーム、一般社団法人デジタル地方創生推進機構（VLED）、総務省、気象庁、警察庁、国土地理院

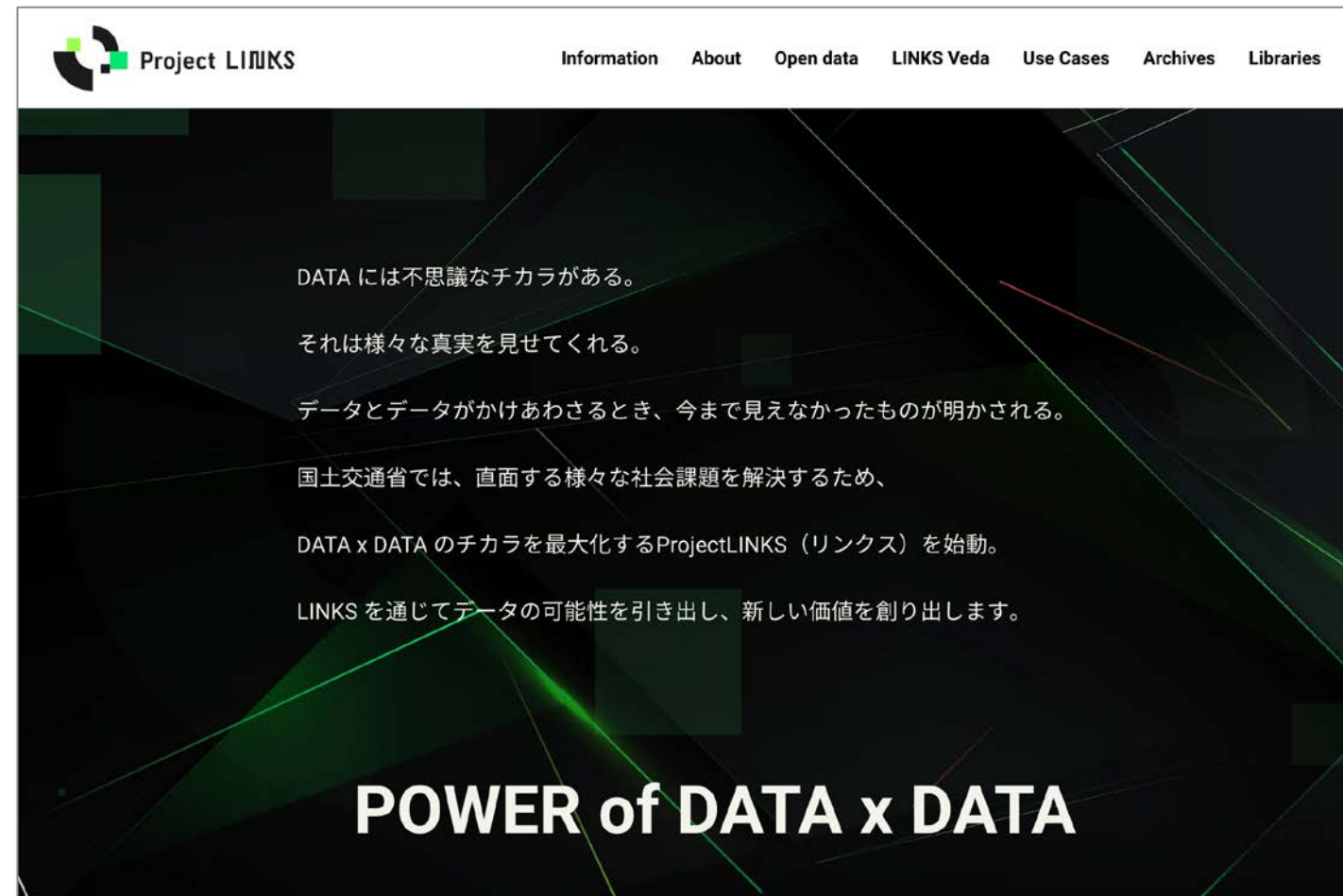
募集内容

- 公共交通オープンデータを含めた様々なデータを最大限に活用した、地方での課題解決や新しいデータの利活用につながるアプリケーションやサービスを募集
- 1. 公共交通オープンデータセンターおよびGTFSデータリポジトリで公開されている、鉄道・バス・航空・フェリー・シェアサイクルなどの公共交通オープンデータを活用していることを必須
- 2. 公共交通オープンデータに加えて、国土交通省が公開する以下のオープンデータを活用することを強く推奨
 - 歩行空間ナビ・プロジェクト（ほこナビ）：駅構内を含む歩行空間のバリア情報やバリアフリー施設に関するオープンデータ
 - Project LINKS: 国土交通省に蓄積されたさまざまな行政情報のオープンデータ
 - PLATEAU: 3D都市モデルのオープンデータ
- 3. オープンデータ・パートナーの提供する、各種オープンデータの活用も推奨

国土交通省との連携

● Project LINKS

- 様々な行政情報を「データ」として再構築し、データに基づく政策立案の推進（EBPM）や新たなビジネス創出（オープン・イノベーション）の実現を目指す、分野横断的な DX 推進プロジェクト



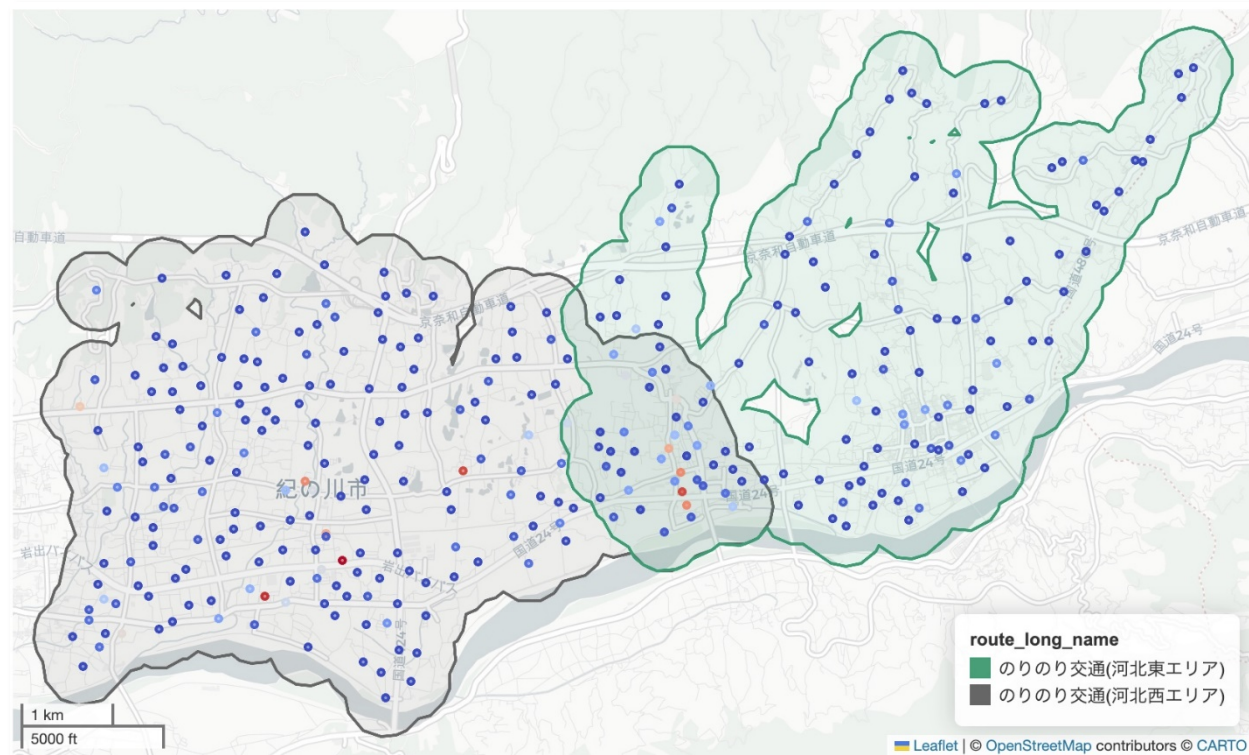
● COMmmONS

- 「交通空白」解消など地域交通の「リ・デザイン」の全面展開を目指す、地域交通DX推進プロジェクト

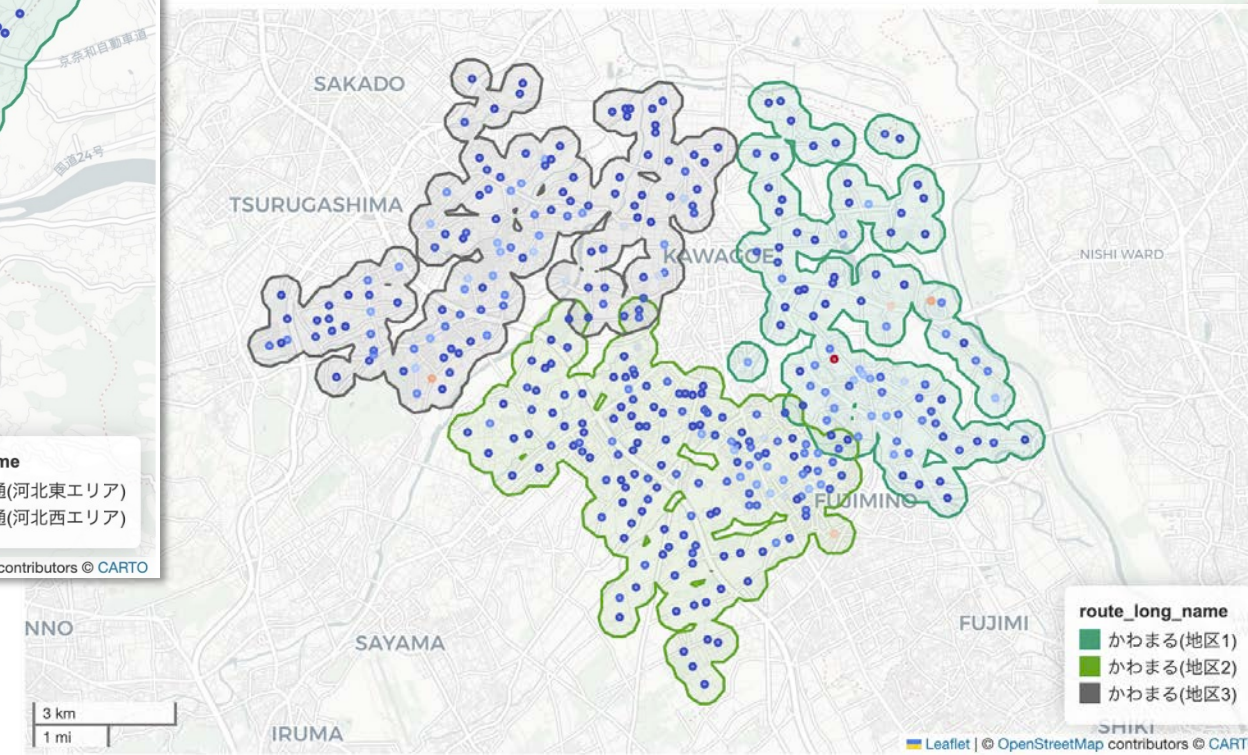


デマンド交通データも公開

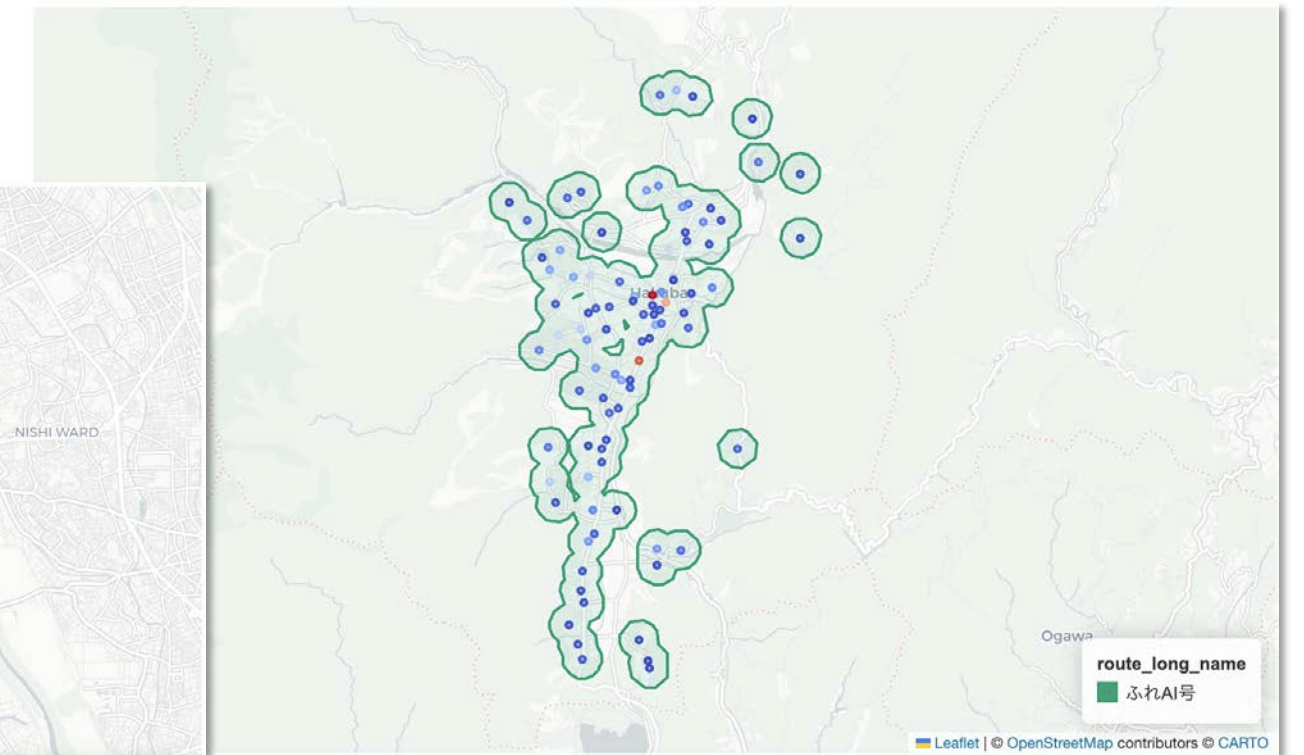
- 「交通空白」解消への貢献が期待されるデマンド交通のデータも、GTFS-Flex形式のデータも含め公開（昨年度実績）
 - 協力: MONET Technologies株式会社、順風路株式会社、SWAT Mobility Japan株式会社
 - 公開自治体: 青森県平川市、群馬県安中市、群馬県富岡市、群馬県玉村町、群馬県昭和村、福井県坂井市、和歌山県紀の川市、長野県白馬村、埼玉県川越市



紀の川市 デマンド乗合交通「のりおり交通」



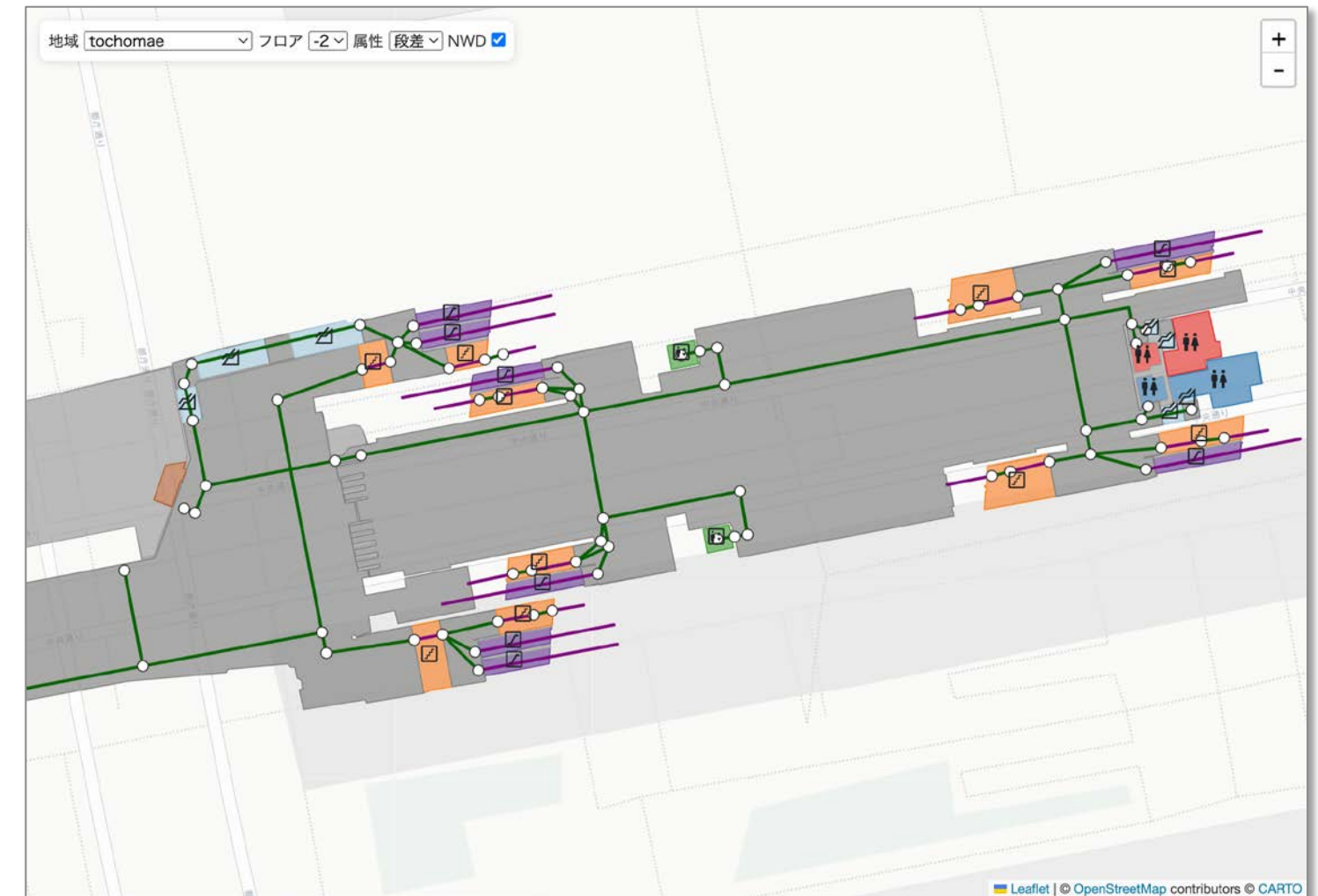
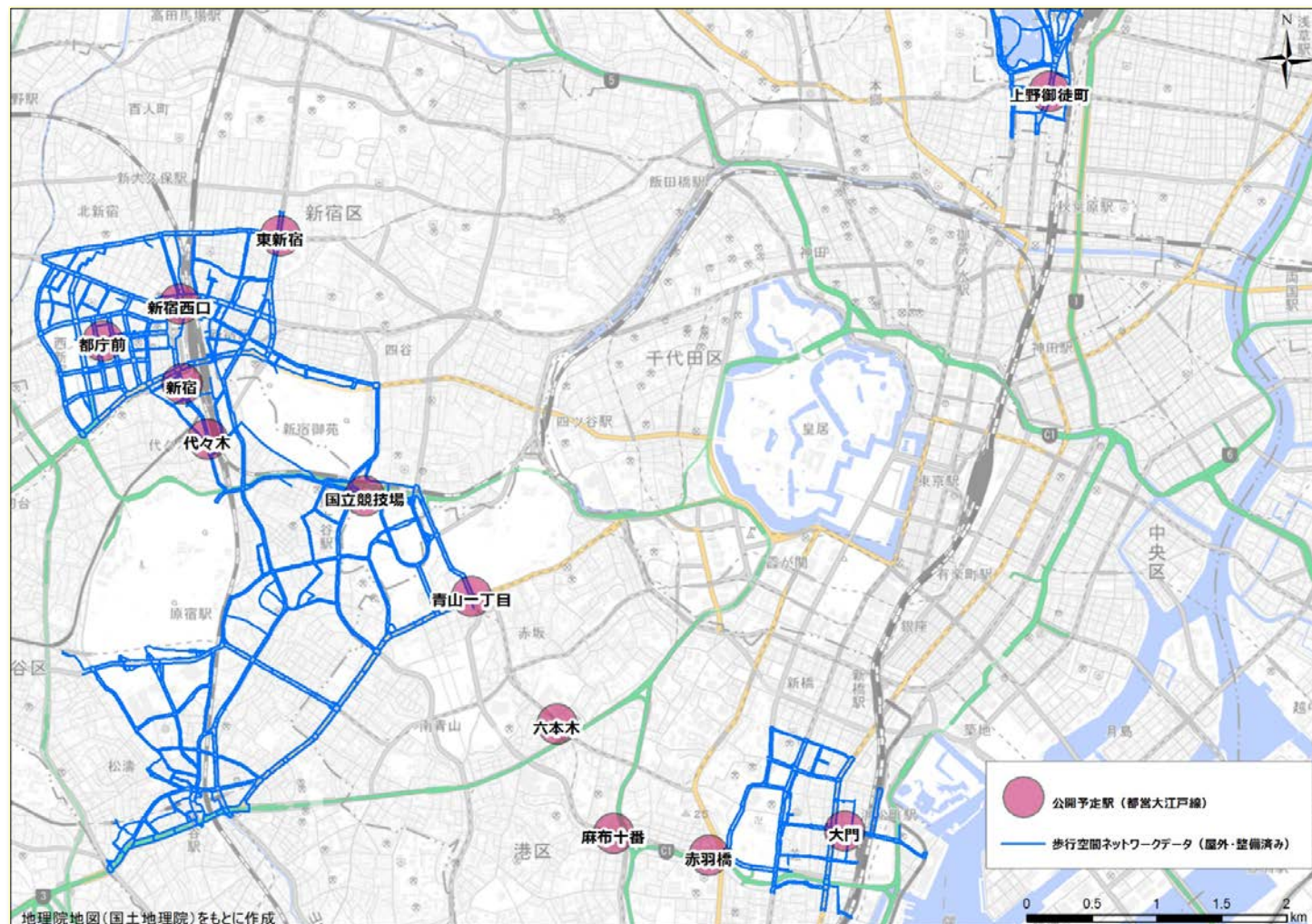
川越市 デマンド型交通「かわまる」



白馬村 デマンドタクシー「ふれAI号」

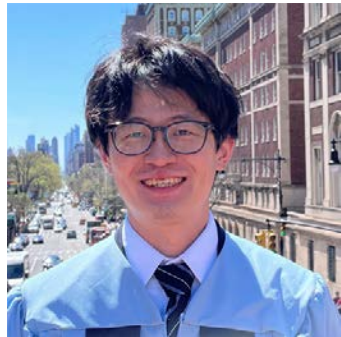
国土交通省「ほこナビ」プロジェクトとも連携

- 「歩行空間ネットワークデータ整備仕様（2024年7月）」に基づき、以下のデータを公開（昨年度実績）
 - 屋外：歩行空間ネットワークデータ（28地域）
 - 屋内：都営大江戸線駅構内の歩行空間ネットワークデータ+構内地図データ（12駅）



審査と表彰

- 審査：以下の審査員により構成される審査会で作品を評価
 - 審査員長
 - 坂村 健：公共交通オープンデータ協議会 会長、東京大学名誉教授
 - 審査員
 - 渡邊 明博：国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課 総括課長補佐
 - Tzu-jen Chan：MobilityData Program Manager, GTFS
 - 山口 智丈：東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング戦略部 マーケティング戦略・グループ統括ユニット マネージャー
 - 草薙 昭彦：Postman株式会社 テクノロジーエバンジェリスト、Mapbox Japanアンバサダー
 - 別所 正博：東洋大学情報連携学部情報連携学科 教授
- 評価基準：特に以下の観点を重視し、総合的に評価
 - 社会課題解決への寄与
 - オープンデータ活用におけるインパクト（オープンデータ化を促進するものか）
 - 技術的な完成度
 - UI/UX面の完成度
- 表彰：優秀と認められた作品に賞を授与
 - 総額最大300万円を予定
 - 優秀賞等のほかに、特別賞を設ける



データ公開する事業者数の推移

	事業者数	GTFS/GBFSデータ 公開事業者数	リアルタイム データ公開 事業者数	GTFS realtimeデータ 公開事業者数
第1回 東京公共交通オープンデータチャレンジ (2017/12/07 ~ 2018/03/15)	22	0	3	0
第2回 東京公共交通オープンデータチャレンジ (2018/07/17 ~ 2019/01/15)	26	0	8	0
第3回 東京公共交通オープンデータチャレンジ (2019/01/16 ~ 2019/11/15)	32	0	8	0
第4回 東京公共交通オープンデータチャレンジ (2019/11/18 ~ 2022/01/31)	54	23	10	3
公共交通オープンデータチャレンジ2024 -powered by Project LINKS - (2024/07/16 ~ 2025/03/14)	96 (350)	84 (338)	30 (58)	22 (50)
公共交通オープンデータチャレンジ2025 -powered by Project LINKS - (2025/07/1 ~ 2026/01/12)	117 (500)	101 (484)	35 (92)	34 (91)
公共交通オープンデータチャレンジ2026	122 (507)	107 (487)	37 (88)	37 (88)

ODPTデータセンター（または各回チャレンジ用サイト）から公開されたデータ数
カッコ内はGTFSデータリポジトリから公開されたデータを含む総数

前回のチャレンジでは...

公共交通オープンデータから始まる イノベーションを

“交通空白”解消へ——アイデアと技術のチカラ

公共交通オープンデータチャレンジ2025

— powered by Project LINKS —



公共交通オープンデータの活用を競う、通算 6 回目のアプリケーションコンテスト

公共交通オープンデータ協議会と国土交通省が主催

コンテスト実施期間：2025年7月1日（火）～2026年3月13日（金）

応募期間：2025年10月1日（水）～2026年1月12日（月・祝）

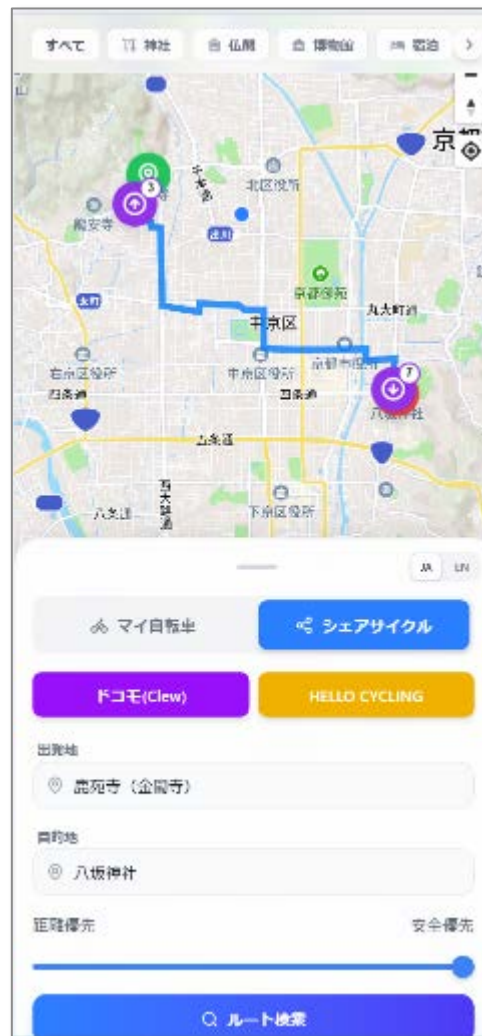
国内外の約600人の開発者がエントリー

最優秀賞「Safe Pedal」

(応募者: 同志社大学経済学部宮崎耕ゼミ「Claude Ko」)

- 安全と効率をスライダーで選択。規制データに基づき「走りやすさ」を追求する自転車ナビ

- チャレンジで提供されたシェアサイクル関連GBFSデータのほか、交通規制データベースも活用し、自転車が安全に通行できるルート案内

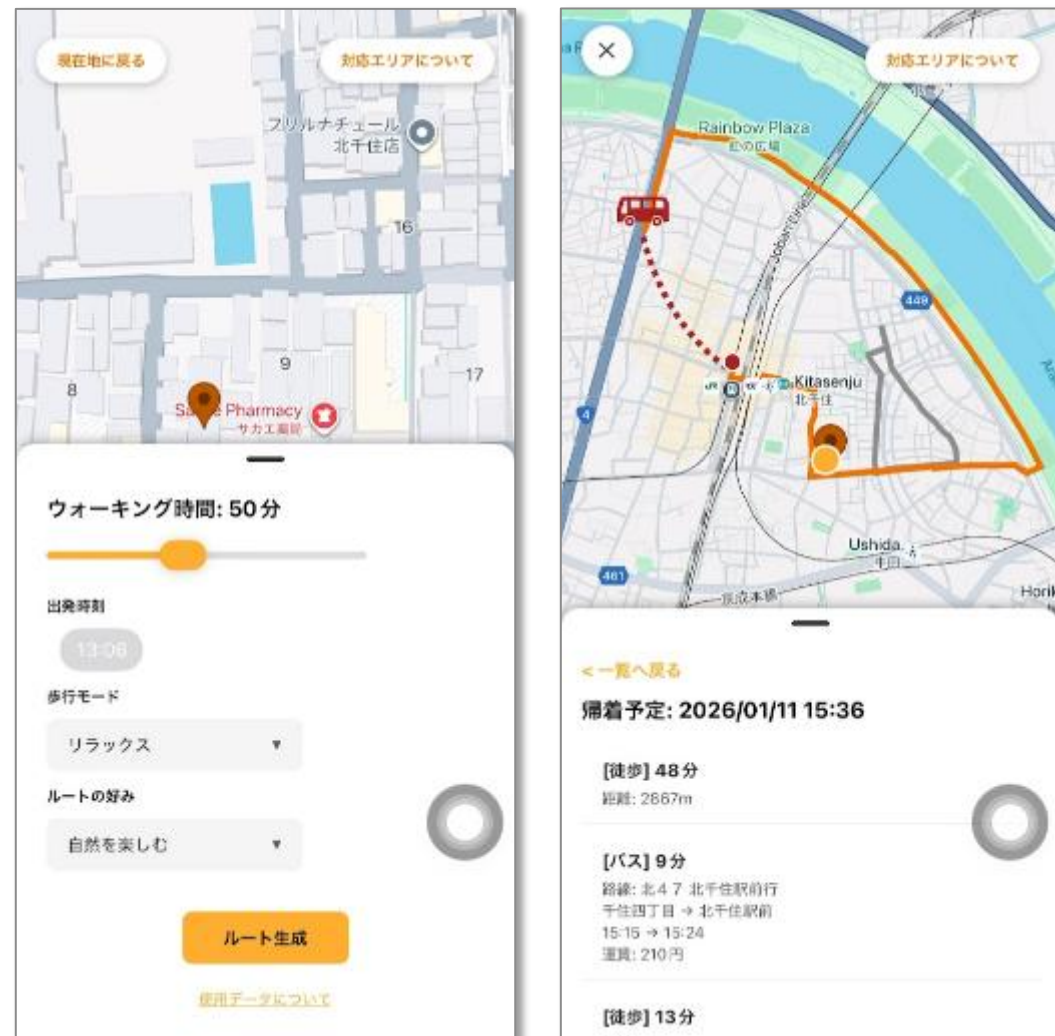


優秀賞「Waaalk - 歩いて、乗って、冒険へ。」

(応募者: いちたすいちは)

● 公共交通を「お散歩」の一部に。日常を冒険に変え、地域の愛着を育む散策アプリ

- チャレンジで提供された電車・バス等のオープンデータと、歩行空間ネットワークデータを組み合わせて、出発地から遠くまで歩き、帰りは公共交通機関を利用して戻るという「ループ型」の散策ルートを提案

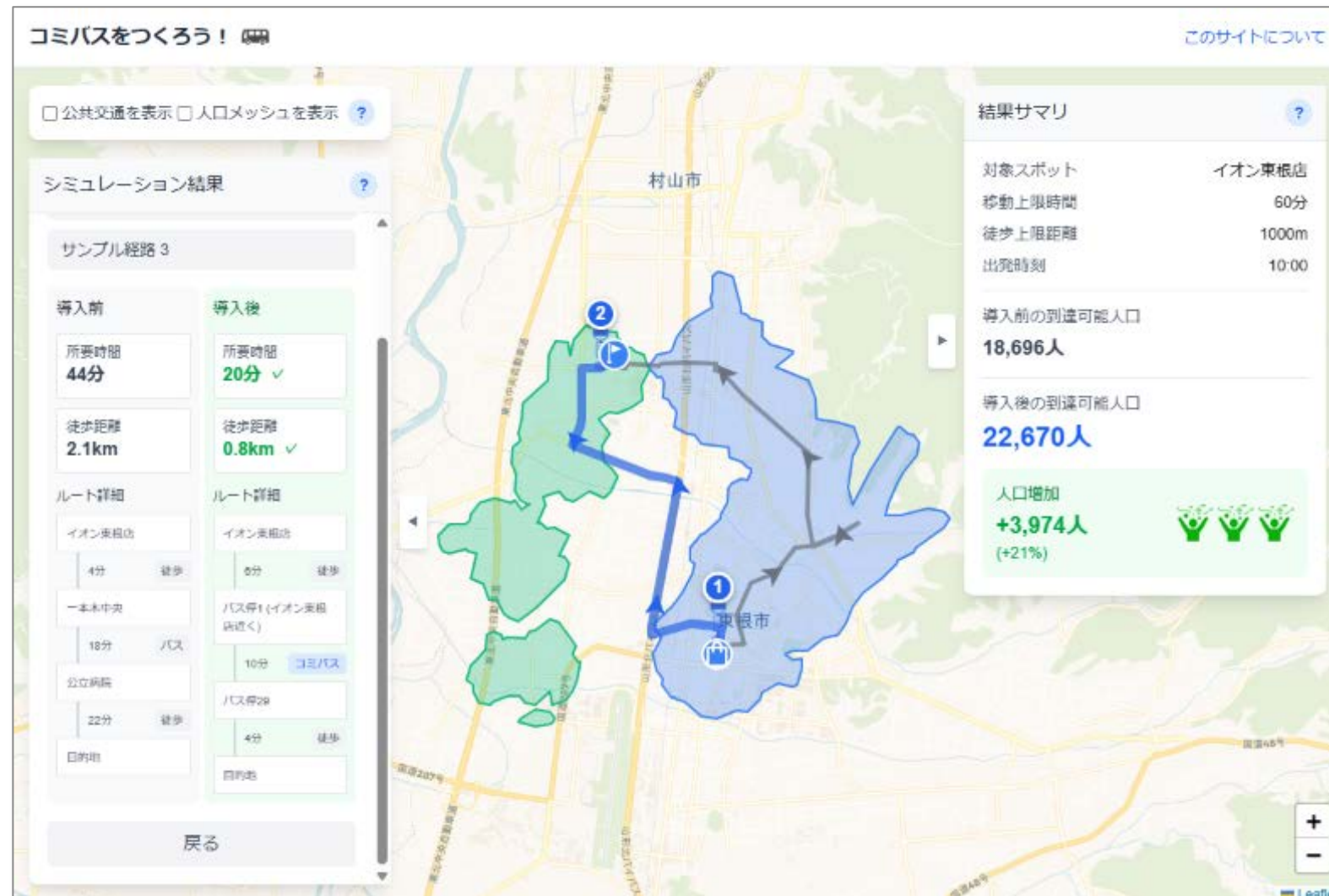


優秀賞「コミバスをつくろう！」

(応募者: coins dawn 五十嵐・中島)

- 誰もがコミュニティバスの設計者に。運行ルートの導入効果を直感的にシミュレーション

- チャレンジで提供されたコミュニティバス・路線バスのGTFSデータを利用して、コミュニティバスの経路作成と導入効果の測定をブラウザ上で行うシミュレーションサービス



優秀賞「ノッタヨ」

(応募者: 森 健太郎)

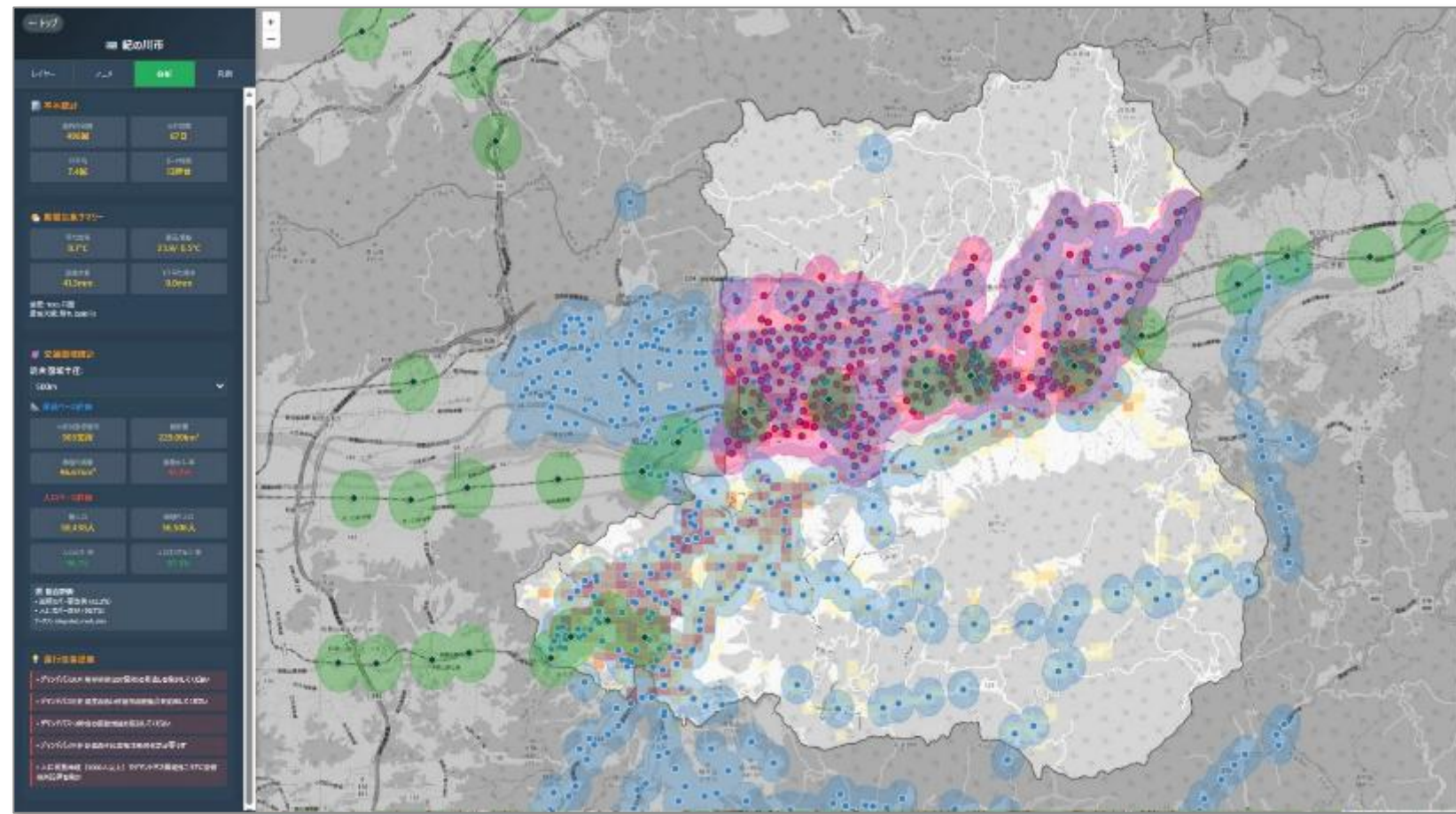
- インフラの改修なしで「乗った」と「降りた」のメール通知を自動送信するアプリ
 - チャレンジで提供された鉄道・バス・デマンドバスの停留所位置を活用し、ドーナツ型ジオフェンスによるエリア判定ロジックを利用して端末の位置情報のみで乗降イベントを判定



優秀賞「Mobiviz -デマンド交通分析システム-」

(応募者: チームMobiviz)

- データでデマンド交通を最適化。自治体の意思決定を加速する分析システム
 - チャレンジで提供されたGTFS-Flexデータおよび乗降実績データを活用し、交通状況をWebブラウザ上で直感的に可視化、地方自治体のデマンド交通（オンデマンドバス）の運行効率化を支援



特別賞（JR東日本賞／INIAD賞）「EkiLink」

（応募者：中央大学情報工学研究部）

- 駅構内を3Dで可視化。誰もが迷わず安心して移動できるバリアフリー・ナビ
 - チャレンジで提供された都営地下鉄12駅の歩行空間ネットワークデータを3Dで可視化し、誰一人取り残さないバリアフリーナビを提供



公共交通事業者・地方公共団体の皆様へ

- ✓ 公共交通オープンデータチャレンジ2026 を機に、ぜひODPTセンターからのオープンデータ化をご検討ください！
 - ODPTセンターからオープンデータ化を行う場合、公共交通事業者・地方自治体の皆様は、**実質無料で入会可能**です
- ✓ 既に地域で推進されているオープンデータの取り組みと、公共交通オープンデータチャレンジ2026の連携も、ご検討ください！
- ✓ Google マップへの掲載にご関心のある事業者様も、ぜひ一度ODPTにご相談ください！
 - すでに十分な品質のGTFSデータを整備できている場合には、直接Google社に提出し審査を受けることで、Google マップに掲載を行うことができます
 - 鉄道事業者様や、複雑な交通事業者様の場合には、ODPTにおいて、GTFS整備・オープンデータ化・Google マップ掲載の支援も行っております

今回のチャレンジを機に...

ぜひ公共交通データのオープン化を
ご検討ください！

